

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月12日

上場会社名 日本基礎技術株式会社
 コード番号 1914 URL <http://www.jafec.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中原 巖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松本 文雄
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東大

TEL 06-6351-5621

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,153	—	△234	—	△151	—	△231	—
20年3月期第1四半期	2,753	—	△65	—	△1	—	△16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△7.96	—
20年3月期第1四半期	△0.55	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	30,386	—	22,954	—	75.5	—	789.88	—
20年3月期	30,543	—	23,149	—	75.8	—	796.55	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 22,954百万円 20年3月期 23,149百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 5.00	円 銭 5.00
21年3月期	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
21年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 3.00	円 銭 3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期累計期間	6,500	10.0	△210	—	△130	—	△130	—	△4.47	—
通期	17,500	11.5	△40	—	110	—	55	—	1.89	—

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	30,846,400株	20年3月期	30,846,400株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	1,785,083株	20年3月期	1,784,307株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第1四半期	29,061,799株	20年3月期第1四半期	29,564,603株

※業績予想の適切な利用に関する説明

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」により四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速、原油・原材料価格の高騰にともなう物価上昇等により景気の減速傾向が強まり、先行き不透明な状況で推移しております。

この間、建設業界におきましても依然として厳しい経営環境の中にあり、公共工事は引き続き減少し、受注環境は以前にも増して厳しく、先行不透明な状況が続いております。

かかる中、当社におきましては、安定した収益を持続できる会社として生き残るには、経営基盤を再構築し、営業力の強化による受注量の確保、および収益力の改善が不可欠であると判断し、当期を初年度とする中期経営計画(3ヵ年計画)を策定し、(1)民間工事の受注拡大、および原子力発電所・港湾等の耐震補強工事への積極的参入、(2)不採算工事の排除、利益性・労働生産性の高い工種・工法への転換、(3)農業用水路等の修繕・維持工事への参入等に努めております。

なお、当社は売上高に占める公共工事の割合が非常に高いため、当社の売上高は通常の営業形態として、上半期に比べ下半期に完成が集中する傾向があり、事業年度の上半期と下半期に季節的変動があります。よって、特に第1四半期においてはその傾向が強く、売上、利益の計上は多くは見込めないため、当第1四半期の業績といたしましては、売上高21億53百万円、営業損失2億34百万円、経常損失1億51百万円、四半期純損失は2億31百万円となっております。なお、当社としては業績の管理については年度末の業績を主眼としております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期末における総資産の残高は303億86百万円となり、前会計年度末に比べ1億56百万円の減少となりました。主な原因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。

(負債)

負債の残高は74億31百万円となり、前会計年度末に比べ37百万円の増加となりました。主な原因としては、未成工事受入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の残高は229億54百万円となり、前会計年度末に比べ1億94百万円の減少となりました。主な原因といたしましては、当第1四半期純損失等による利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期末の自己資本比率は75.5%となり、前会計年度末に比べ0.3ポイントの減少となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成20年5月16日に公表いたしました、第2四半期累計期間・通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①貸倒見積額を算定する方法

当第1四半期末の一般債権に係る貸倒引当金は、前事業年度末に算定した貸倒実績率等から著しい変化がないため、前事業年度末の貸倒実績率等を用いて算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準

当第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」により四半期財務諸表を作成しております。

②棚卸資産に関する会計基準

当第1四半期より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。なお、この変更による財務諸表への影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135,532	2,782,321
受取手形・完成工事未収入金	2,592,822	4,651,750
有価証券	7,048,622	6,946,200
未成工事支出金	5,463,212	4,080,157
材料貯蔵品	76,135	68,140
その他	460,270	484,596
貸倒引当金	△6,000	△12,000
流動資産合計	18,770,595	19,001,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,471,588	1,492,691
土地	2,451,382	2,451,382
その他（純額）	858,227	908,801
有形固定資産計	4,781,198	4,852,874
無形固定資産	101,422	98,918
投資その他の資産		
投資有価証券	5,205,887	5,034,441
その他	1,565,652	1,592,025
貸倒引当金	△37,998	△36,160
投資その他の資産計	6,733,542	6,590,306
固定資産合計	11,616,163	11,542,099
資産合計	30,386,758	30,543,266
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,149,993	3,438,407
未払法人税等	9,706	36,307
未成工事受入金	2,284,516	1,999,769
完成工事補償引当金	7,000	7,000
賞与引当金	54,000	111,000
役員賞与引当金		6,100
工事損失引当金	145,700	141,650
訴訟損失引当金	49,278	49,278
その他	610,642	466,488
流動負債合計	6,310,838	6,256,001
固定負債		
退職給付引当金	808,779	818,616
役員退職慰労引当金		30,400
その他	312,192	288,890
固定負債合計	1,120,972	1,137,907
負債合計	7,431,810	7,393,908

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907,978	5,907,978
資本剰余金	5,512,143	5,512,143
利益剰余金	14,765,547	15,142,334
自己株式	△777,568	△777,378
株主資本合計	25,408,101	25,785,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,870	△200,437
土地再評価差額金	△2,435,283	△2,435,283
評価・換算差額等合計	△2,453,153	△2,635,720
純資産合計	22,954,948	23,149,358
負債純資産合計	30,386,758	30,543,266

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,153,267
売上原価	1,938,386
売上総利益	214,880
販売費及び一般管理費	449,119
営業損失(△)	△234,238
営業外収益	
受取利息	4,114
有価証券利息	38,316
複合金融商品評価益	19,587
その他	25,934
営業外収益合計	87,953
営業外費用	
固定資産除却損	4,367
その他	1,317
営業外費用合計	5,684
経常損失(△)	△151,970
特別利益	
貸倒引当金戻入益	6,000
会員権償還益	3,050
その他	208
特別利益合計	9,258
特別損失	
投資有価証券評価損	15,178
特別損失合計	15,178
税引前四半期純損失(△)	△157,889
法人税、住民税及び事業税	11,000
法人税等調整額	62,586
法人税等合計	73,586
四半期純損失(△)	△231,476

当第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	
完成工事高	2,753,711
II 売上原価	
完成工事原価	2,377,597
売上総利益	
完成工事総利益	376,113
III 販売費及び一般管理費	441,750
営業損失	△65,637
IV 営業外収益	
受取利息	2,912
その他	62,611
営業外収益合計	65,523
V 営業外費用	1,194
経常損失	△1,307
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税引前四半期純損失	△1,307
税金費用	15,000
四半期純損失	△16,307

6. 工種別受注高、売上高、繰越工事高

(1) 受注高

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期 (平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで)		前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
法面保護工事	593	15.0	2,992	17.4
ダム基礎工事	232	5.9	1,240	7.2
アンカー工事	1,087	27.4	2,919	17.0
重機工事	271	6.9	1,420	8.3
注入工事	994	25.0	4,107	23.9
維持修繕工事	76	1.9	497	2.9
環境保全工事	152	3.8	712	4.1
その他土木工事	322	8.1	2,347	13.6
建設コンサル・地質調査	238	6.0	971	5.6
合 計	3,970	100.0	17,209	100.0

(2) 売上高 (完成工事高)

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期 (平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで)		前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
法面保護工事	627	29.2	3,288	21.0
ダム基礎工事	564	26.2	1,735	11.1
アンカー工事	299	13.9	2,182	13.9
重機工事	76	3.5	1,667	10.6
注入工事	161	7.5	2,232	14.2
維持修繕工事	13	0.6	695	4.4
環境保全工事	27	1.3	788	5.0
その他土木工事	239	11.1	2,147	13.7
建設コンサル・地質調査	143	6.7	964	6.1
合 計	2,153	100.0	15,701	100.0

(3) 次期繰越工事高

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期 (平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで)		前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
法面保護工事	1,649	13.6	1,682	16.3
ダム基礎工事	1,343	11.1	1,675	16.2
アンカー工事	2,616	21.5	1,829	17.7
重機工事	414	3.4	218	2.1
注入工事	3,993	32.9	3,160	30.6
維持修繕工事	214	1.8	150	1.5
環境保全工事	449	3.7	324	3.2
その他土木工事	1,127	9.3	1,044	10.1
建設コンサル・地質調査	330	2.7	235	2.3
合 計	12,139	100.0	10,323	100.0